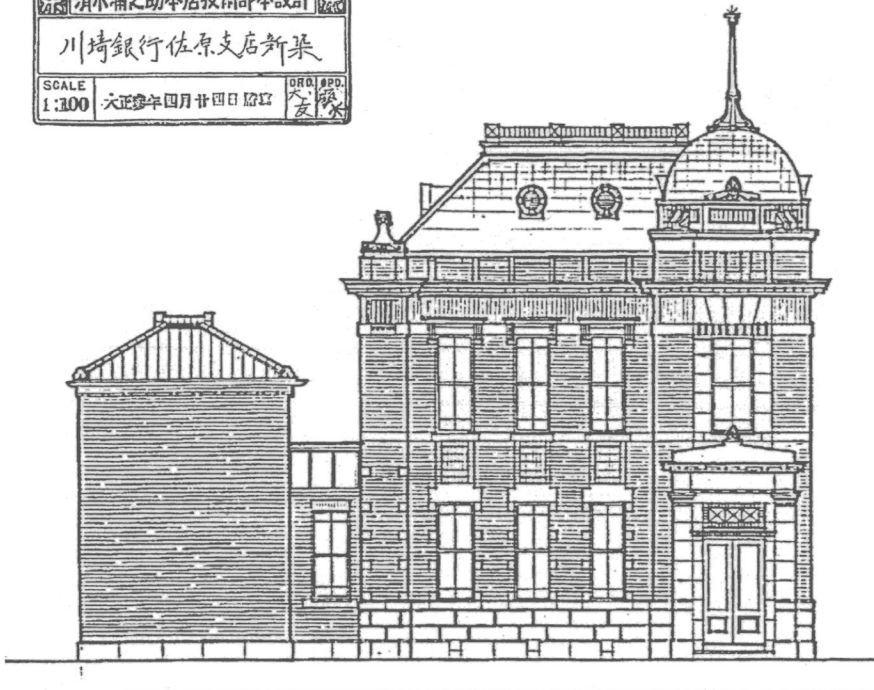
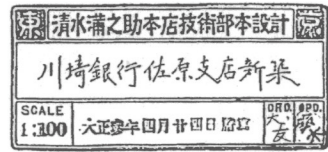


建築物の概要

名称：佐原三菱館
 県指定有形文化財「三菱銀行佐原支店旧本館」
 建設当初は「川崎銀行佐原支店」
 建設年：大正3年6月起工、11月竣工
 構造：煉瓦造2階建、煉瓦タイル貼り
 屋根小屋組は木造トラス、ドームを配する
 内部は吹き抜け、2階には回廊
 窓や出入口は巻き上げ式の鍍戸鉄製サッシ
 デザイン：ルネサンス様式
 煉瓦と花崗岩で構成する「辰野式」の意匠

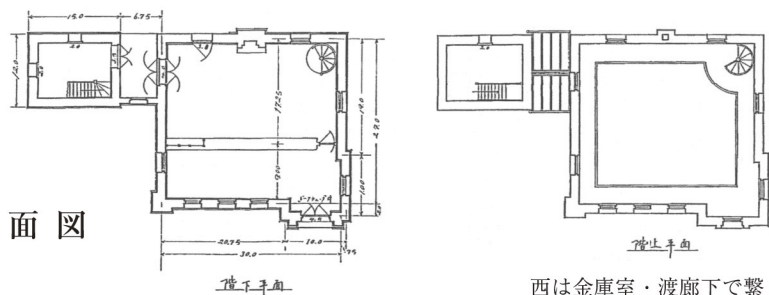
設計：清水満之助本店技術部本設計
 設計担当の欄に「大友」、製図担当に「鈴木」の印
 職員の大友弘(1888年生)、鈴木栄太郎であろう。
 技術部の技師長は田辺淳吉(東京帝国大学工科大学卒)
 で辰野金吾の関与により、高岡共立銀行を設計している
 ことから、田辺氏の指導を受けて設計したと考えら
 れる。大友弘の設計した建築物には次の代表作があり、
 大正時代から昭和初期にかけ活躍した。
 (大友弘の代表的な作品)
 ・新津記念館(新津恒吉邸)新潟 国登録有形文化財
 ・松籟閣(平澤輿之助邸)新潟 国登録有形文化財
 ・起雲閣(根津嘉一郎別邸)静岡熱海市指定有形文化財
 ・旧正田邸 東京 現存せず



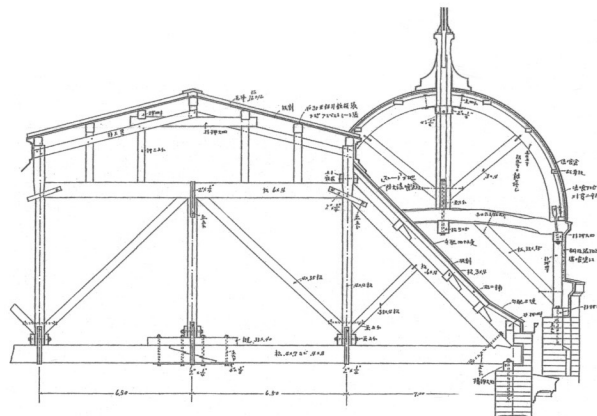
北正面立面図 北側正面



矩計図(かなばかりず)



平面図

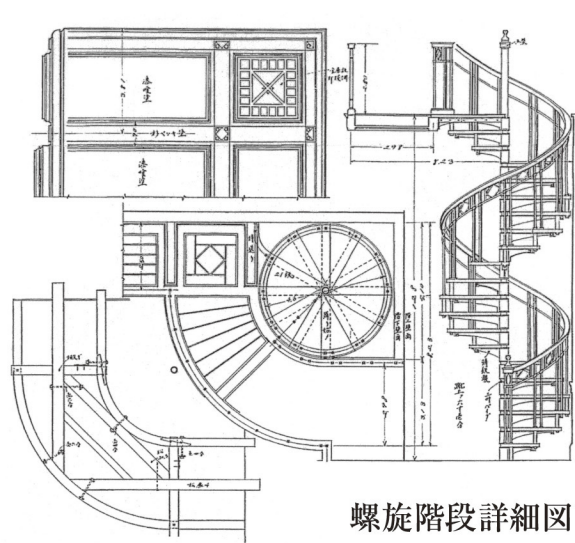


小屋組詳細図

西は金庫室・渡廊下で繋ぐ
 金庫室に至る開口部の建具が現在
 も残る。
 南側の開口部は塗り込まれた。
 マントルピースは、取り外され壁
 となる。煙突の上部のみ残る。

木骨組み
 内側は漆喰仕上げにして防火構造
 にしている。

屋根平葺は防火漆喰下地にスレ
 ート葺きであったが、銅板葺に変更
 された。
 ドームの銅板は当初のもの。



螺旋階段詳細図

建物南西隅に鋳鉄製の螺旋
 階段があった。
 2階の窓にあるスチール製
 のシャッターを開閉するた
 め上り下りした階段である。

図面は清水建設株式会社
 よりご提供いただいた。

「佐原三菱館」
 三菱銀行佐原支店旧本館

建設100周年を迎えて

ごあいさつ

近代洋風建築は、デザインや素材において暖かさがあり、
 今でも各地で存在感を示し、地域のアイデンティティを形成
 する重要な要素です。佐原でも赤煉瓦銀行として親しまれ
 ていました。

「三菱銀行佐原支店旧本館」の建築物は、大正3年11月
 「川崎銀行佐原支店」として竣工し、その後、第百銀行・三
 菱銀行と合併・変遷しながら営業を続け、平成15年に佐原
 での営業を閉じました。

設計・施工は清水満之助本店(現、清水建設)によるも
 ので、煉瓦と花崗岩で構成されるデザインは、英国の古典
 的なルネサンス様式によるもので当時の近代洋風建築を
 代表する貴重な建築物です。

本建築物は、老朽化や東日本大震災によって大きなダ
 メージを受け、現在観光客が入館できない状態です。今年
 建設百周年を迎えるにあたり、一年間の企画展を催すことと
 しました。この企画展が、本建築物の再認識や保存修理の
 早期着工に繋がれば幸いです。



大正3年12月7日に落成式を迎えた時の案内状と絵葉書

NPO法人
 小野川と佐原の町並みを考える会
 2014年5月吉日



川崎銀行水戸支店 M42年



東京駅 M41-T3年



高岡共立銀行 T4年



川崎銀行佐倉支店 T7年



川崎銀行本店 (部分保存) T10-S2年 明治村



川崎銀行千葉支店 S2年



三菱1号館 ジョサイア・コンドルの設計 M27年 H21年 (再建)

(時代背景)

新貨条例、円・10進法が登場
1両を1円に(10万円ほどか)
私立の銀行発足
国立銀行発足(実体は民間)
「みずほ銀行」が第1号

「第百十九国立銀行」
「第百国立銀行」
「三菱為換店」(現三菱銀行)

日本銀行が設立
郵便汽船三菱会社から分離して銀行経営
第百銀行に改組(市立銀行)

(東京駅 鉄骨煉瓦造建築)

川崎銀行「佐倉支店」竣工
設計は矢部又吉
三菱合資会社から株式会社「三菱銀行」

金融恐慌
川崎銀行は第百銀行合併「川崎第百銀行」
銀行法の制定

川崎銀行本店建設(設計、矢部又吉)

川崎銀行千葉支店建設(設計、矢部又吉)

第百銀行と改称

三菱銀行は第百銀行を合併

「東京銀行」設立

三菱は財閥解体に伴い「千代田銀行」
(一時改称)
「三菱銀行」に戻す



川崎銀行本店の玄関 (部分保存)

「東京三菱銀行」設立

「東京三菱UFJ銀行」設立

※青は三菱の流れ

(「佐原三菱館」と洋風建築・町並み)

(明治)
4年

5年
6年

7年
11年

13年

15年
19年
31年

(大正)
3年

7年

8年
10年
12年

(昭和)
2年

11年

18年

21年

23年
28年

62年
(平成)
元年

3年

8年

15年

17年
18年
23年

「川崎組」の設立

合資会社「川崎銀行」設立
川崎銀行「佐原出張所」
(本店は日本橋、支店は千葉と水戸)

川崎銀行「佐原支店」に昇格

「佐原三菱館」の建設
設計・施工は清水満之助本店
(現、清水建設)

(合資会社から株式会社「川崎銀行」)
(利根川【横利根閘門】竣工)煉瓦造
(関東大震災)

川崎第百銀行「佐原支店」

第百銀行「佐原支店」と改称

三菱銀行と合併
三菱銀行「佐原支店」

千代田銀行「佐原支店」

三菱銀行「佐原支店」

(千葉東方沖地震)震度5

新店舗の完成により
旧本館(煉瓦造)は佐原市へ寄付

千葉県指定有形文化財に指定
「三菱銀行佐原支店旧本館」
(観光案内所として使用)

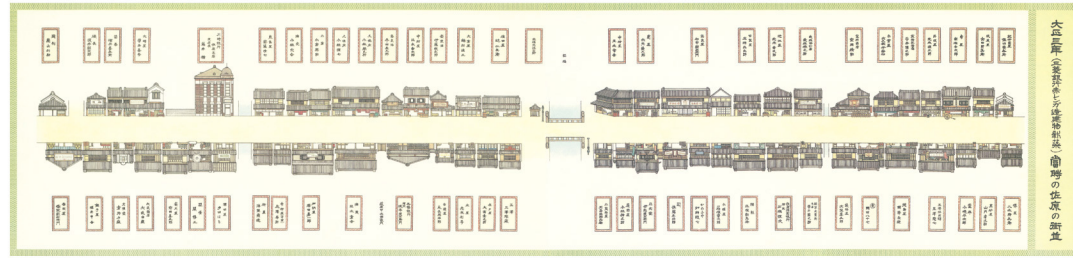
(町並みが「重要伝統的建造物群保存地区」)

東京三菱銀行「佐原支店」閉行

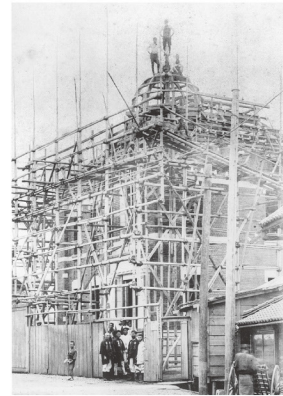
「佐原町並み交流館」としてオープン

(東日本大震災)震度5強

※赤は川崎の流れ



大正3年当時の町並み



本館通り 大正初期



小野川左岸 大正初期



松井天山の鳥瞰図に着色 S5年



川崎銀行佐原支店 T3年



横利根閘門 複開式閘門 T3-10年



佐原三菱館使用風景



協橋 M15年



犬吠埼灯台 M5-7年 下総高岡の煉瓦使用



新宿の町並み M44年



新宿の町並み S6年



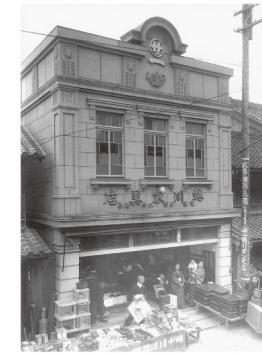
本宿の町並み S6年



奈良屋呉服店 T6年 合資会社清水組施工



成家邸 S2年



蟻川家具店 昭和初期



サクマ薬局 S9年



小倉時計店 S2年



千葉合同銀行佐原支店 S4年



千葉無尽株式会社 大正-昭和初期



国民共済無尽合資会社 大正-昭和初期

古写真は千葉県立中央博物館大利根分館・香取市にご協力いただいた